



越前町
ECHIZEN

2007. 11. 1
vol.10

議会だよい



平成19年度 越前町戦没者追悼式 10月12日 於 越前陶芸村文化交流会館

発行・越前町議会 発行責任者・議長 井上信雄 編集・議会広報特別委員会
〒916-0192 福井県丹生郡越前町西田中13-5-1
TEL (0778) 34-1234 (代)

九月定例会報告

| | |
|--|---|
| ○歳出の主なもの | ○商工費 |
| ○越前町商工会合併記念事業補助金 | ○排水事業特別会計補正予算（第1号） |
| ○福井の伝統的民家普及促進事業補助金（宮崎地区江波地係） | 補正額 448万7千円 (予算総額) |
| ○携帯電話施設整備費（不感地域解消のための整備越前地区梅浦地係の一部） | 6億2,457万3千円 汚泥改質電動弁取替・高圧受電設備移設費（越前地区） |
| ○安心で潤いのあるまちづくり事業補助金（越前地区米ノ区・宮崎地区樫津区に対する補助金） | 決算特別委員会 |
| ○織田デイサービスセンター事務所改修補助金 | 11人の委員で構成する決算特別委員会を設置し、これに付託して閉会中の続審査としました。 |
| ○衛生費 | これに付託して閉会中の続審査としました。 |
| ○農林水産業費 | 決算特別委員会 |
| ○上水道事業会計負担金 | 特別会計 |
| ○競争力のある米産地育成事業補助金（認定農業者・生産組織に対する補助金） | ○平成19年度越前町介護保険事業特別会計補正予算（第1号） |
| ○高収益園芸品目生産拡大事業補助金（苺の高設栽培を行い生産拡大に取り組む宮農集團「もぎたての会」に対する補助金） | 補正額 84万円 (予算総額) |
| ○町単小規模土地改良事業費（織田地区桜谷区） | ○平成19年度越前町農林漁業休験実習館事業特別会計補正予算（第1号） |
| ○平成19年度越前町公共下水道事業特別会計継続費精算報告書 | 補正額 84万円 (予算総額) |
| ○議案 | ○特別会計 |
| ○平成19年度越前町一般会計補正予算（第4号） | ○平成19年度越前町介護保険事業特別会計補正予算（第1号） |
| ※補正予算概要 | 補正額 2,793万9千円 (予算総額) |
| ○平成19年度越前町公共下水道事業特別会計補正予算（第1号） | 若竹莊（宮崎地区）沿室ボイラーリ修繕料 |
| ○平成19年度越前町一般会計補正額 | 18億2,363万9千円 (予算総額) |
| ○平成19年度越前町公共下水道事業特別会計補正予算（第1号） | 1号 |
| ○平成19年度越前町公共下水道事業特別会計補正予算（第1号） | 補正額 100万円 (予算総額) |
| ○平成19年度越前町公共下水道事業特別会計補正予算（第1号） | 2億5,041万4千円 (予算総額) |
| ○平成19年度各会計歳入歳出決算認定について | ○平成19年度越前町上水道事業会計補正予算（第1号） |
| （予算総額） | 補正額 160万円 (予算総額) |
| 130億1,931万円 | 2億5,041万4千円 (予算総額) |
| （予算総額） | ○朝日中学校校舎建設工事請負契約の締結について |
| 4,062万4千円 | ①（仮称）朝日中学校校舎建設工事請負契約の締結について |
| （予算総額） | ②（仮称）朝日中学校屋内運動場建設工事請負契約の締結について |
| 業費（織田地区桜谷区） | ○平成18年度各会計歳入歳出決算認定について |
| ○平成19年度越前町集落平成18年度越前町一般会計歳入歳出決算ほか9 | ○丹生衛生管理組合の解散について |

平成19年第4回臨時会

| | |
|----------------------------|--|
| ○議案審議結果 | ○丹生衛生管理組合の解散について |
| 原案に対する反対討論後、賛成多数で可決 | 平成20年3月31日をもつて解散するもの。 |
| ○朝日中学校校舎建設工事請負契約の締結について | ○人権擁護委員の推薦同意再任 上坂弘氏（内郡） |
| ○朝日中学校屋内運動場建設工事請負契約の締結について | ○「地方道路整備の促進と財源確保に関する意見書」議員発議により「地方道路整備の促進と財源確保に関する意見書」を可決し、国会および政府関係機関に対し提出しました。 |
| ○平成18年度各会計歳入歳出決算認定について | ○平成18年度各会計歳入歳出決算認定について |
| （予算総額） | ○平成18年度越前町一般会計歳入歳出決算ほか9 |

9月定例会 一般質問



田中 太平

町の施策を問う

要性・緊急性・効果等を
考えて対応していくたい
と考えています。

協議会・会議は57団体あり、
①報酬に差があるが統一すべきではないか。
②57団体への女性の登用率は何%か。

団体での女性登用率は27.0%で、平成19年7月には27.1%。また平成18年4月以降に設置された団体では、女性登用率は27.3%となっています。

間をかけてメリットを町政に反映させたいと思います。

答 いのは福井県・石川県・富山県であると書籍で紹介されていましたが、越前町はこれに貢献しているか。

厳しい財政状況
が表面化し、町内外の人
が住みよいところと感じ
ているかどうかは疑問で
すが、第一次総合振興計
画を着実に推進していく
中で、日本一の住みやす
さを求めていきたいと思
います。

問 越前町の合併に
対する世論調査結果で、「悪くなつた」が「良くなつた」よりも多いと報道されていたが、これに対する町長の所見を伺いたい。

が表面化し、町内外の人
が住みよいところと感じ
ているかどうかは疑問で
すが、第一次総合振興計
画を着実に推進していく
中で、日本一の住みやす
さを求めていきたいと思
います。

答 町長

答 町長 予算上の公共事業費の推移は、平成17年度が109億円、18年度98億円、19年度77億円となっています。

行が厳しく抑制されてい
る中、教育環境や防災・
救急体制、道路や上下水
道などインフラの整備が
大事であり、一方で、男
女共同参画社会の推進や
国際交流事業等も活性化
には必要で、今後は、必

が必要で、今後とも、行政と民間が連携して、男女共同参画社会の実現を目指したいと思っています。

答
② 平成18年4月 町長

政が非常に厳しい状況にあるので、町民の声がこのような結果に表れているのであれば、この二年半の町政の進め方にについて反省しなければなりません。合併によるメリッセン。合併によるメリッセン。



町財政の現状と課題



北野 正勝

問

24・4%といえ
ば、当町の実質公
債費比率である。昨年よ
りさらに0・3ポイント
アップしたが、平成18年
度単年度決算についてい
えば、実質公債費比率は
前年度より1・3ポイント
減の22・5%、他、財
政力指数、経常収支比率、
起債制限比率等いずれも
微量ながら改善の努力を
見ることができる。し
かしながら、当町は人口
の25%を高齢者が占め、
町の核となる産業がなく、
財政基盤が弱い上、来年
度から適用の地方自治体
財政健全化法で当町財政
状況が評価される中、福
祉関係費の増加、職員数
の適切な定員管理、新発

債の抑制、公営企業の繰
出金の抑制など、これら
の諸問題について町長は
どのようなリーダーシッ
プをとるのか、所見を伺
いたい。

答

町長

町財政の現状は、

旧町村時代からの積極的
な行政サービスや社会資

本の整備の結果、施設の
維持管理や公債費などの
歳出増加。一方、歳入を
見ますと、景気低迷のた
め町税の収入の減少傾向、
三位一体の改革で、地方
交付税が大幅に減額し、
非常に財政状況が厳しく
なってきています。

来年度概算要求は地方
交付税4・2%の減との
情報の中で、現在の標準
財政規模84億円を公債負
担の適正化計画最終目標
年度の24年度までには74
億円程度に抑える必要が
あると考えています。

平成20年度予算を考え
てみると、一般財源が
伸びる可能性はない中で、
歳出面で、中学校の移転
改築と消防分署新築移転
の投資的経費を見込んで
います。

新年度は経常経費を3
%程度減額しなければ予
算が組めない状況で、一
般会計予算は2億円程度
減額の127億5千万円を考
えています。

また、職員の定数は全
国平均を相当上回ってい
ますので平成24年度まで
には40名ばかり減らし3
46名体制を念頭に置き、
一方、公共施設の合理化、
あるいは行政サービスの
委託、公共施設の統廃合
の問題、民間委託の問題
等々も真剣に取り組んで
いきますが、この改革は
口で言うほど簡単でなく
の硬直を招き、活発な自
治活動を計画的に行うと
いうことはできない。い
かに住民福祉の向上を叫
び、まちづくりの理想を
掲げても、その実現はと
うい不可能である。

もちろん町長の予算編
成方針は十分理解し同時
に、町長の選挙公約を推
進することに協力するこ
とは、同じ町政を預かる
ものとして大切なことと
認識いたしますが、予算
が堅実でなければ、財政
の硬直を招き、活発な自
治活動を計画的に行うと
いうことはできない。い
かに住民福祉の向上を叫
び、まちづくりの理想を
掲げても、その実現はと
うい不可能である。

三位一体の改革
国と地方の財源に関する三つの
改革
① 国庫補助金の廃止・縮減
② 国から地方への税源移譲
③ 地方交付税制度の見直し

予算編成のプロセス
予算は町の収入
と支出の予定準則
のことと、同時に町民に
1年間にどれだけの公租
公課を義務づけ、見返り
としての行政サービスを行
て福祉の向上に努めるか
を約束するものである。

しかし、住民の要求は
無限で、町の予算の財源
には限度がありますから
当然優先順位をつけ、広
く客観的に住民の立場に
立った公平なものでなく
ではない。

私はこの無謀な予算に
賛成しないことが住民に
対しての責任であり、次
の世代に対してもおもい
やりとして、大型バス運
行関連予算議決に3度反
対をいたしました。

そこで今後も大型バス
の運行を続けるならば、
その財源と運行の見通し
を伺いたい。

町長
指摘の環状ル
ト大型バスは、4町村合
併の一つのシン
ボル的な意味合
と移動制約者に
対する配慮が第
一にあります。

三位一体の改革
国と地方の財源に関する三つの
改革
① 国庫補助金の廃止・縮減
② 国から地方への税源移譲
③ 地方交付税制度の見直し

としてコミュニティバス
環状ルート、大型バス2
台の運行必要性に対し
の説明を求めてきたが、
「町長の選挙公約」との
答弁にその正当性を認識
することはできません。
バスの購入費、運行費、
維持費、関連施設費等は、
2万4千人の町民負担の
限界を超えている。

私はこの無謀な予算に
賛成しないことが住民に
対しての責任であり、次
の世代に対してもおもい
やりとして、大型バス運
行は本年度2千百万円
程度で、運賃収入見込み
2百万円程度、地域公共
交通活性化事業で県補助
金が9百万円。従って、
町は年間1千万円程度の
負担。この財源は当町の
地域振興基金の果実を充
てて運営しています。今
後、県補助金の減少に対
しては利用者の増加を期
待し、その運賃収入増加
を見込んでいます。

一部事務組合議会報告

丹生衛生管理組合議会

報告者 上杉 力

召集日 7月18日

於 越前町議会議場

○公平委員会事務の委託の廃止に関する協議について

○丹生衛生管理組合監査委員の選任について



丹生衛生管理組合は、昭和37年3月31日に設置され、し尿・浄化槽処理汚泥年間処理量は、年々減少しており、平成5年度のピーク時に比べ18年度は39%減まで落ち込んでいる。

ることについて
(鯖江広域衛生施設組合特別職の職員の報酬および旅費等に関する条例の一部改正)

以上、すべて原案のとおり可決承認。

○鯖江・丹生消防組合監査委員の選任について
(鯖江・丹生消防組合監査委員の選任について)

渡辺 恵氏（越前町）以上、原案のとおり可決承認。

鯖江広域衛生施設組合議会

報告者 田中太平

召集日 8月21日

於 鯖江市議会議場

○平成18年度鯖江広域衛生施設組合一般会計歳入歳出決算の認定について

(歳入14億1,774万2千円、歳出13億7,132万2千円、歳入歳出差引額4,642万円)

○平成19年度鯖江広域衛生施設組合一般会計補正予算(第1号)
(717万円を減額)

○鯖江広域衛生施設組合職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正について

○専決処分の承認を求ることについて
(鯖江広域衛生施設組合職員定数条例の一部改正について)

○専決処分の承認を求めることについて
(鯖江・丹生消防組合員の給与に関する条例の一部改正)

することについて
(鯖江広域衛生施設組合特別職の職員の報酬および旅費等に関する条例の一部改正)

以上、すべて原案のとおり可決承認。

○鯖江・丹生消防組合監査委員の選任について
(鯖江・丹生消防組合監査委員の選任について)

北野正勝氏（越前町）以上、原案のとおり可決承認。

鯖江・丹生消防組合議会

報告者 久保昌義

召集日 8月22日

於 越前町議会議場

○平成19年度鯖江・丹生消防組合一般会計補正予算(第1号)
(500万円を追加)

○平成18年度鯖江・丹生消防組合一般会計歳入歳出決算の認定について

(歳入12億8,280万3千円、歳出12億3,671万5千円、歳入歳出差引額4,608万8千円)

○平成19年度福井県丹南広域組合ふるさと市町村圏振興事業特別会計補正予算(第1号)
(97万6千円を追加)

○灾害対応特殊消防ポンプ自動車(CD-I型)取得契約の締結について

○専決処分の承認を求ることについて
(鯖江広域衛生施設組合職員定数条例の一部改正について)

○専決処分の承認を求めることについて
(鯖江・丹生消防組合員の給与に関する条例の一部改正)

することについて
(鯖江広域衛生施設組合特別職の職員の報酬および旅費等に関する条例の一部改正)

以上、すべて原案のとおり可決承認。

○鯖江・丹生消防組合監査委員の選任について
(鯖江・丹生消防組合監査委員の選任について)

北野正勝氏（越前町）以上、原案のとおり可決承認。

福井県丹南広域組合議会

報告者 堀 弘忠

召集日 8月27日

於 越前市議会議場

○平成19年度福井県丹南広域組合一般会計補正予算(第1号)
(5,291万4千円を追加)

○平成19年度福井県丹南広域組合一般会計歳入歳出決算の認定について

(歳入12億8,280万3千円、歳出12億3,671万5千円、歳入歳出差引額4,608万8千円)

○平成18年度福井県丹南広域組合ふるさと市町村圏振興事業特別会計補正予算(第1号)
(97万6千円を追加)

○灾害対応特殊消防ポンプ自動車(CD-I型)取得契約の締結について

○専決処分の承認を求ることについて
(鯖江広域衛生施設組合職員定数条例の一部改正について)

○専決処分の承認を求めることについて
(鯖江・丹生消防組合員の給与に関する条例の一部改正)

することについて
(鯖江広域衛生施設組合特別職の職員の報酬および旅費等に関する条例の一部改正)

以上、すべて原案のとおり可決承認。

○鯖江・丹生消防組合監査委員の選任について
(鯖江・丹生消防組合監査委員の選任について)

北野正勝氏（越前町）以上、原案のとおり可決承認。

公立丹南病院組合議会

報告者 北島忠幸

召集日 8月28日

於 鯖江市議会議場

○専決処分の承認を求ることについて
(関係条例の文言の改正)

○専決処分の承認を求ることについて
(療養病床削減計画に従い療養病床41病床を一般病床へ転換)

○専決処分の承認を求ることについて
(病床への転換)

○専決処分の承認を求ることについて
(関係条例の文言の改正)

○専決処分の承認を求ることについて
(病床への転換)

※入院患者数の減少

前年度対比△8・3%

○公立丹南病院組合病院事業の設置に関する条例の一部改正について

○平成18年度公立丹南病院組合病院事業会計決算の認定について
(入院・外来収益の減少により1,900万の経常損益)

重点事項

6項目

重要事項

20項目

- ①北陸新幹線の早期整備
- ②地域公共交通機関に対する支援

- ③少子化に対する施策の一體的推進
- ④有害鳥獣対策の支援
- ⑤学校教育の充実
- ⑥公共施設の耐震化促進に対する支援

総理大臣に要望

- 19項目

総務常任委員会 現場踏査を実施

8月2日

総務常任委員会委員が、町の遊休地10ヶ所と防災倉庫（朝日地区）および越前総合事務所内にあるデジタル防災行政無線システムの現場踏査を実施しました。

越前町の遊休地（町有地）と防災対策の現状を把握し、今後の委員会活動の参考にしていきたいと考えています。



赤井谷ひまわりの里（織田地区）

15区画分譲中



デジタル防災
行政無線システム
(越前総合事務所)

新中学校開校を目指す



安全祈願祭

新中学校の建設工事安全祈願祭が9月20日、気比庄地係の建設予定地で晴天のもと実施されました。

建設される中学校は、朝日中学校と糸生中学校を統合し、平成21年4月開校を目指します。

子どもたちが楽しく学校生活を送れるよう、校舎には学年ごとの共通ホール、ランチルームや中高一貫教室などが設けられます。

また、体育館には住民交流の場として利用出来る地域連携室が併設されます。

朝日中学校と糸生中学校を統合

平成19年度 敬老会 全町で1,156人が参加

敬老会が9月17日（敬老の日）、朝日勤労者体育館ほか3会場で開催されました。

町内の77歳以上の方々が参加、地元の皆さんによる心のこもったアトラクションや婦人会、ボランティアの方々のおもてなしを受け、楽しいひとときを過ごしました。議員も各会場に駆けつけお祝いをしました。来年も元気でお会いしましょう。



越前地区



篠山市役所



丹波伝統工芸公園 陶の郷 窯元横丁

産業土木常任委員会委員研修

9月25日～26日 研修先=兵庫県篠山市

委員長 上坂 昭夫

「観光（特産品・地場産業の活用）とグリーンツーリズムによるまちづくりについて」、日本六古窯の一つに数えられる“丹波焼”的ふるさと篠山市を視察しました。篠山市と越前町は非常に風土や条件が似ている。

年間20以上のイベントを開催し、320万人もの観光客が訪れるまちとなるまでには、さまざまな努力が必要であり、役所主体でお金をかけるだけのイベントではなく、商工会、観光協会、JA、観光ボランティアの方々と手を取り合った住民参加型のイベントであることが大切であると感じました。

また、同市にある「丹波伝統工芸公園 陶の郷」を訪れた際“窯元横丁”なる会場に目を見張った。一つ大きな会場内に約60の窯元が店を構え、一つひとつの作品を手に取りながら、散歩気分で買い物ができる空間が作られていた。毎日が「陶器まつり」といった当施設のアイデアは越前町にも参考になる施設であった。

第66回町村議会広報研修会に参加



講師 保坂政和氏
(サンケイ新聞編集委員)

加、熱心に講義を受けました。

同研修会は、議会広報の向上発展を目的として毎年開かれているもので、本町からも広報委員と事務局員が参加し、広報を作るうえでの企画の立て方や編集テクニックなどの手法を学びました。

全国町村議会議長会主催による「第66回町村議会広報研修会」が8月29・30日、シェーンバッハ砂防（東京）で開催されました。全国から約500人の議会広報担当者が参



議会運営委員会委員研修

議会運営委員会委員が9月5日、福井県自治会館において、福井県町村議会議長会伊藤主査を講師に招き、議会運営について研修を行いました。

議会運営委員会の役割について

12月議会の傍聴をしてみませんか 日程については、議会事務局にお問い合わせください。TEL34-8712

議会広報特別委員会
委員長
副委員長

武藤 杉 上野 北瀬 安井 堀 青柳 吉村
吉 明 力 正勝 賢二 良春 弘忠 良彦 春男
(堀)

国際化が進展し、日本文化が世界の国々に評価され
る中、日本の伝統文化、芸術文化に親しむ好季節を迎
えました。
一方、町内では清らかに
催しが行われています。一度体験してみては、いかが
でしょうか。
一方、町内では清らかに
澄みきった青空のもと、(仮
称)朝日中学校校舎建設の
槌音が響き渡っています。
今回、広報研修会で学ん
だことをもとに、「わかり
やすく、読みやすく、親し
められる」紙面づくりをめざ
して、切磋琢磨しつつ編集
にあたりました。
一人でも多くの、町民の
皆さんのご意見を反映すべ
く大きな役割を担っている
議会です。ご意見等をお寄せ下
さい。
お待ち致しております。

編
集
後
記